

普及現地情報



発信年月日：令和4年（2022年）5月13日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C22003
部門分類：160(果樹)
発信者名：近藤憂、杉浦

なしの予備摘果研修会を開催！

4月27日、管内生産者ほ場において甲賀地域なし栽培研究会の生産者を対象とした、なしの予備摘果研修会を開催しました。

なしの果実の大きさは満開から30日の間にほぼ決まります。より大きな果実を収穫するためには、この時期に不必要な果実をある程度摘果しておく予備摘果作業が重要となります。

研修会では、予備摘果の際に残す果実の選定基準を説明し、実際のほ場の果実を用いて指導を行いました。また、今後発生が予想される黒星病や、管内で発生が見られているアブラムシの防除についても注意喚起をしました。

研修に参加した生産者からは、自分の園で考えられる状況での摘果方法など多くの質問がされ、また研修会後も生産者間で情報交換を行うなど、収穫に向けてなし栽培に対する意欲が高まっているように感じました。

当課では今後、研修後のフォローアップ指導として、JAとともに巡回し、各生産者に対して個別指導を行っていきます。



ほ場で実物を見ながら説明